

# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	薬剤科	総括責任者	部長 高田 みゆき
—		副責任者	科長 門倉 徹

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

適正かつ経済的な薬物使用に寄与します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
定数配置薬品の払出し方法を変更する	薬剤師、看護師	病棟定数配置薬品・臨時請求薬品の使用状況把握	使用状況表に基づき払出し	上期と同様(本館6病棟)	—	(なし)
定時注射薬施用単位払出しの推進	薬剤師、医師、看護師	週末の施用払出しの実施率を上げる	全病棟で実施する	週末含め全病棟施用払出し実施	月～木曜日のみ(3病棟は全て施用単位)	(なし)
臨時注射の払出し方法の変更を検討する	薬剤師、医師、看護師	臨時請求薬品の使用状況把握	今年度に一部変更し実施する	アレルギー内科、乳腺外科、泌尿器科、皮膚科で実施	—	(なし)

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんや地域市民のみなさんへ薬の正しい服用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
服薬指導(入院患者薬剤管理指導料、入院患者退院時薬剤情報管理指導料)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数+退院指導算定件数)	11,000件	12,665件(薬剤管理指導料9,536件、退院時薬剤情報管理指導料3,129件)	11,480件	(なし)
薬薬連携の推進	薬剤師、医師、看護師、病診連携、保険薬局	地域かかりつけ薬局との連携を図る	ホームページの改訂	乳腺外科の化学療法レジメン公開	—	患者満足度

## III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ・薬品購入費の削減に努めます。
- ・服薬指導の積極的な実施により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
後発医薬品への切替え推進	薬剤師	後発品の切替え率	90%以上	94.7%	93.5%	後発医薬品の使用割合
服薬指導(入院患者薬剤管理指導料、入院患者退院時薬剤情報管理指導料)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数+退院指導算定件数)	11,000件	12,665件(薬剤管理指導料9,536件、退院時薬剤情報管理指導料3,129件)	11,480件	医業収支比率

# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—		副責任者	科長代理	河並 昭彦

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 地域医療連携で医療機器の共同利用を推進します。
- ② 高精度治療IMRT (VMAT)を推進します。
- ③ 医療提供する技師の専門資格を保持します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
医療機器の委託検査推進 (CT, MR, RI)	放射線技術科、地域連携室、放射線診断部	委託検査数	1,800件	1,802件	1,736件	紹介率・逆紹介率
高精度治療IMRT (VMAT)の推進	放射線技術科 放射線治療部	患者数	30件	64件	21件	(なし)
技師の専門資格保持	放射線技術科	延べ人数	35人	37人	38人	(なし)

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 放射線検査の線量を測定し、放射線検査の線量の最適化を図ります。
- ② 救急センターからの検査対応能力の強化を図ります。
- ③ 技術科職員の接遇向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
被ばくワーキンググループを中心に線量最適化	放射線技師	DRLS2020の線量を目標とする	100%	100%	DRLS2015に対応	(なし)
救急センターからのMR頭部、脊椎について対応	放射線技師	夜勤技師の習熟率	100%	100%	85%	(なし)
サービス部会から患者の声で注意がないよう、技術科職員の接遇向上	放射線技師	科内検討回数	3回	3回	1回	(なし)

## III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① MRの土曜日曜の検査を定着させMR委託検査数を増加させ収入を増加する。
- ② 治療の品質管理体制を維持し治療加算を維持する。
- ③ 放射線機器の修理費を削減します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
MR委託検査数	放射線技師、放射線診断部医師、地域連携室	MR委託検査数	700件	711件	640件	医業収支比率
治療品質管理体制の維持	放射線技師	現状の加算体制の維持	加算体制維持	加算維持	加算体制維持	医業収支比率
放射線技術科での修理費の削減	放射線技術科管理職	修理費定価から15%減	修理費16%減	19%	修理費16%減	医業収支比率

# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤義雄
—		副責任者	主任医療技師	中西利基

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度医療機器を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
医療機器を安心して使用できる質の高い体制 (保守・点検の実施)	臨床工学技士	管理機器点検数	15,000件	15,059件	14,287件	(なし)
医療機器を安心して使用できる質の高い体制 (MEコンサルジュ、御用聞き)	臨床工学技士	病棟ラウンド数	4,800件	5,019件	4,769件	(なし)
診療科の業務依頼への初期対応	臨床工学技士	返答数	16%	44.10%	8%	(なし)
医療機器安全研修のWEB化	臨床工学技士	参加人数	250件	102名	200名	(なし)
管理機器安全使用の推進	臨床工学技士	確認表の電子化	10機種	13機種	—	(なし)

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①断らない治療を実現する臨床技術を提供します。
- ②患者さんに分かり易い情報発信を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
非透析日の対応数をあげる	臨床工学技士	対応件数	30件	29件	23件	(なし)
非心臓カテーテル検査日の対応数をあげる	臨床工学技士	対応件数	80件	74件	72件	(なし)
非心臓血管手術日の対応数をあげる	臨床工学技士	対応件数	8件	16件	4件	(なし)
分かり易いホームページの作成	臨床工学技士	ホームページ見直し回数	2回	2回	1回	情報発信件数
より良い透析環境の確保	医師 臨床工学技士	実施人数	8名	26名	5名	(なし)

# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤義雄
—		副責任者	主任医療技師	中西利基

## Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①コストの削減を目指します。
- ②職員の意識改革を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
臨床工学科の使用物品の見直し	臨床工学技士	コストの削減	3件	3件	1件	診療材料費対医業収益比率
スタッフミーティングによるコストへの意識を高める	臨床工学技士	ミーティング実施回数	10回	10回	-	医業収支比率
スタッフミーティングの就業時間内実施	臨床工学技士	就業時間内実施	60%	53.30%	60%	職員給与費対医業収益比率

# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	臨床検査科	総括責任者	科長 関口 博子
—		副責任者	科長代理 久保谷久子・内田正則・間地知子

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①新型コロナウイルス感染症に対する安定的な検査体制を構築します。  
②他職種連携により質の高い医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
新型コロナ関連検査の出来る技師を増やす。	臨床検査技師	検査可能な技師数	13人	9人	10人	(なし)
乳腺カンファレンスに参加し知識や技術を向上させる。	医師・臨床検査技師・放射線技師	開催数・参加人数	1回/月(術後) 1回/週(術前)	12回(術後)32人 45回(術前)117人	11回(術後)	(なし)

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんが安心して受診出来る環境作りとして、十分な感染対策のもと採血待ち時間短縮に務めます。また採血混雑時間帯に対しての対策を考えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
検体検査室では採血待人数・待ち時間などが表示されるため採血室担当者との連携により調整をはかる	臨床検査技師	待ち時間	15分	10分	15分	(なし)

## III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

新型コロナ関連検査に対応します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
新型コロナ関連検査の外部委託を減らす。	医師・看護師・臨床検査技師	外部委託件数	1,200件	729件	2,601件	経常収支比率

# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	栄養科	総括責任者	科長 古屋 久美子
—		副責任者	

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 質の高い栄養計画の立案、実施に努め、チーム医療に貢献します。
- ② 地域の栄養連携を積極的に実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
入院中の積極的栄養介入	管理栄養士	計画提案数	50件	50件	未調査	(なし)
病棟カンファレンスへの参加	管理栄養士	参加病棟数	4病棟	7病棟	2病棟	(なし)
地域連携栄養サマリー発行	管理栄養士	記入発行数	12件	35件	1件	(なし)

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① おいしく、治療に結びついた安全な給食提供に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
嗜好調査結果をふまえた献立見直し (全体の料理変更)	管理栄養士、給食委託業者	改定日数	6日/21日サイクル	10日	0	患者満足度
嗜好調査結果をふまえた献立見直し (高齢者への対応変更)	管理栄養士、給食委託業者	改定食種数	10食種	11食種	0	患者満足度
入院食の満足度を上げる	管理栄養士、給食委託業者	お褒めの手紙数	50件	263件	未調査	患者満足度
ホームページの更新	管理栄養士	更新回数	1回	1回	1回	情報発信件数

## III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 給食材料の見直しを行い、食材費の節約に努めます。
- ② 病院経営を意識した業務実施に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
入院時栄養指導の増加	管理栄養士	入院時個別指導件数	900件	874件	786件	入院診療単価
経腸栄養製品の見直し	管理栄養士、給食委託業者	使用額 (円/kcal)	0.75円	0.807円	0.793円	医業収支比率

# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	医療安全管理室	総括責任者	室長	杉木 正
—		副責任者	室長代理	片岡 誠

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

安全で質の高い医療を提供する環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
リスク管理を推進する	統括医療安全管理者 医療安全管理室長 医療安全管理者 セーフティマネージャー 医療安全担当者 セーフティスタッフ	アクシデント・インシデントレポートの報告数	3,000件以上	3,278件	3,020件	(なし)
		アクシデント・インシデントレポートのレベル3以上の報告数	50件以下	28件	34件	(なし)
		インシデントレポート第一報 報告平均日数	2日以内	1.16日	1.39日	(なし)
医療安全管理者会(医療安全カンファレンス)	医療安全管理部門	カンファレンス回数	40回	40回	42回	(なし)

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

院内医療事故の発生を防止するよう努め、患者さんが安心して受診、療養できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
レベル3b以上のアクシデント報告数が前年度以下になるように再発防止策の提案に努める	統括医療安全管理者 医療安全管理者 セーフティマネージャー 医療安全担当者 セーフティスタッフ	レベル3b以上のアクシデント報告数	2件以下	2件	1件	(なし)
		再発防止策の提案	2種	5種	4種	(なし)
転倒・転落による損傷発生率を低減する	統括医療安全管理者 医療安全管理者 セーフティマネージャー 医療安全担当者 セーフティスタッフ	転倒・転落 レベル2以上の発生率(医療の質の評価 クリニカルインディケータ 中央値)	0.0006	0.00021	0.00029	(なし)

## III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

医療安全対策に関する施設基準の取得を維持します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
医療安全対策地域連携基準の維持	医療安全管理部門	医療安全対策相互評価実施	6施設 実施	6施設実施	6施設 実施	(なし)
ガイドラインに準じた肺血栓塞栓予防の実施	医療安全管理部門	肺血栓塞栓症予防管理料算定件数	2,000件	1,923件	1,874件	(なし)



# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	感染対策室	総括責任者	感染対策室長 石井 美千代
—		副責任者	

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 医療関連感染の予防に努め感染防止策を啓発します。
- ② 医療関連感染発生時は早期にアプローチし感染拡大を防止します。
- ③ 抗菌薬の適正使用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
感染制御チーム(ICT)ラウンドと改善への介入	ICT	チェック項目の遵守率	前年度より改善	94%	93.0%	(なし)
血液培養陽性および規制抗菌薬使用患者への介入	AST	広域抗菌薬延べ使用日数	前年度より改善	5,881日	4,640日	(なし)
感染対策連携医療機関(平塚茅ヶ崎連携)との抗菌薬、耐性菌、手指衛生の情報共有	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	感染情報の共有と評価	実施	実施	なし	(なし)

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんや市民の皆さまに向けて感染防止策をわかりやすく発信します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
市民向け講座の実施	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	市民講座の回数	3回	6回	2回	(なし)
ホームページの更新	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	更新回数	1回	5回	1回	情報発信件数

## III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

新型コロナウイルス感染症による院内感染を防止します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
適切な手指衛生の推進	ICT・リンクナース	1患者1日当たりの手指消毒回数(一般病棟看護師)	16回/1患者/日	19.7回/1患者/日	15回/1患者/日	(なし)
全職員対象研修の実施	ICT(感染コントロールチーム)	受講率	90%以上	100%	100%	(なし)
部門別研修の実施	ICT(感染コントロールチーム)	実施回数	各部署1回以上	11回	1回	(なし)



# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	入退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	女屋早苗
—		副責任者		

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域における高度急性期医療を担う病院としての役割を果たすために、地域の関係機関・後方連携機関との連携を密にします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
介護支援等連携指導、退院時共同指導等(Webも含む)で互いの情報や患者情報を共有する。	退院調整看護師、MSW、医師など	介護支援等連携指導、退院時共同指導における連携施設との面談回数	20施設以上と3回	26施設と年3回情報共有を実施	22施設と3回以上の面談(1指導に複数施設参加あり)	(なし)
地域関係機関主催の会議(Webも含む)に出席する	退院調整看護師、MSW、医師など	会議出席回数	10回以上/年	17回/年	3/年 (BIG netのみWebで)	(なし)
近隣の二次救急医療機関や後方連携機関に訪問し、当院の機能、役割、当院が対応可能な疾患などについて広報させて頂くとともに、急性期治療後の速やかな転院に関する協力をお願いをする。	退院調整看護師、MSW、医師など	訪問回数	30件以上/年	26回/年 3施設に2回以上 23施設に1回訪問	関係機関への訪問は0回	(なし)

## II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者・家族が安心して入院し、退院後の療養の場に移行できるよう支援します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者・家族が安心して入院できるよう、入院前面談対象患者を拡大する	医師、外来看護師、PFM看護師、事務員、薬剤師、栄養士、医事課、退院調整看護師、MSW、病棟看護師	入院時支援加算月算定件数(年間)	入院前面談拡大予定の3診療科の令和元年度の予定入院患者数の50% 350件/年	入院前面談件数 432件/年 算定件数363件/年	入院前面談実施件数 94件/年 (入院時支援加算算定数65件/年)	(なし)
患者・家族が安心して退院できるよう退院支援を実施する	医師、病棟看護師、退院調整看護師、MSW	入退院支援加算月算定件数(平均)	平均250件/月	平均272件/月	平均177件/月	(なし)
患者・家族が安心して退院できるように地域と連携し、医療・ケアが継続できるよう、介護支援等連携指導や退院時共同指導を(Webも含めて)実施する	退院調整看護師、MSW、医師、病棟看護師	介護支援等連携指導、退院時共同指導件数	介護支援等連携指導100件/年 退院時共同指導60件/年	介護支援等連携指導60件/年 退院時共同指導25件/年	介護支援等連携指導89件/年 退院時共同指導38件/年	(なし)
がん相談支援センターとしての業務を遂行する	がん相談支援センター専従看護師、退院調整看護師、	がん相談対応件数(月)	120件/年	198件/年	89件/年	(なし)
患者が安心して入院生活を過ごせるようリエゾンチームの一としての業務を遂行する	PSW、公認心理師	精神科リエゾンチーム加算(年)	1,500件/年	1,229件/年	1,481件/年	(なし)

# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	入退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	女屋早苗
—		副責任者		

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

経営参画を意識し、貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
フレックスの導入、緊急対応の当番制など業務の効率化による時間外勤務の削減	退院調整看護師、MSW、がん相談支援センター看護師、PSW、公認心理師、事務員	1人あたり時間外勤務時間数(月)	各自前年度の10%減	平均15時間/月	平均15時間/月 (ばらつきあり)	職員給与費対医業収益比率
退院支援に関連する診療報酬を算定します	退院調整看護師、MSW、がん相談支援センター看護師、PSW、公認心理師、事務員	入退院支援加算算定件数(月) 介護支援等連携指導件数(年) 退院時共同指導件数(年)	入退院支援加算算定件数250件/月 介護支援等連携指導100件/年 退院時共同指導60件/年	入退院支援加算算定件数272件/月 介護支援等連携指導60件/年 退院時共同指導25件/年	入退院支援加算算定件数177件/月 介護支援等連携指導89件/年 退院時共同指導38件/年	医業収支比率

# 職員行動計画書

【令和3年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—		副責任者	担当長 担当長	千葉 伸吾 高梨 一広

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①平塚市民病院将来構想を着実に推進します。
- ②適正に病院会計業務を遂行します。
- ③院内への将来構想の理念の浸透に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
経営戦略に対するKPIの進捗状況の自己点検及び平塚市民病院運営審議会の外部点検による適切な監理	事務職	進捗点検の実施	2回	2回	2回	(なし)
職員行動計画の策定及び進捗管理	事務職	進捗点検の実施	1回	1回	1回	(なし)
財務データに基づく出納状況の随時把握と財務資料の定期的な作成	事務職	翌月末を期限に提出	12回	12回	12回	(なし)
行動計画策定プロジェクトチームの設置及びワークショップHCHの運営管理	事務職	次年度に向けた提案	完了	完了	なし	(なし)
財務システムによる企業債の管理	事務職	企業債の財務システム管理を実施	完了	完了	なし	(なし)

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者、市民に対して、積極的に情報を発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外来における非接触式問診用機材の整備	事務職	非接触式問診の開始	完了	完了	なし	(なし)
病院広報誌「SMILE！」の発行	医師、看護職、医療技術職、事務職	発行回数	4回	4回	4回	情報発信件数
ホームページの充実	医師、看護職、医療技術職、事務職	ホームページアクセス数	23,000回/月	30,737回/月	22,917回/月	情報発信件数

# 職員行動計画書

【令和3年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—		副責任者	担当長 担当長	千葉 伸吾 高梨 一広

## Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①事業運転資金を確保します。
- ②経営健全化のため、経営改善を実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
病院や各部署の特徴、弱点、傾向を分析し、経営幹部や現場へ還元	事務職	経営戦略会議での分析報告回数	4回	7回	5回	経常収支比率
病院や各部署の特徴、弱点、傾向を分析し、経営幹部や現場へ還元	事務職	各部署への情報還元回数	18回	20回	8回	経常収支比率
現金・預金残高の常時把握及び必要に応じた関係部署との調整及び資金調達	事務職	現金預金残高の増加	前年度末以上	4,322,995,062円	1,813,451,723円	(なし)
年度別重要目標の設定と数値管理	事務職	目標設定とモニタリング	完了	完了	なし	(なし)
個室、分娩介助料の見直し	事務職	個室、分娩介助料の見直し	完了	完了	なし	医業収支比率

# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	病院総務課	総括責任者	課長	野上 正志
—		副責任者	課長代理 担当長	高田 誠二 木村 明智

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

高度な医療に必要な医療機器を効率的に調達します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
効率的な医療機器等の調達	医師、医療技術職、 看護職、事務職	予算残額	1,000,000円	306,586円	4,278,000円	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

療養環境の向上、提供する診療機能の向上を目指します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者からの施設に関する意見への丁寧な対応	事務職	満足度調査(施設面) の満足度	施設面各項目に おいて前年度の 平均点維持	4.4点	3.9点	患者満足度
患者への診療機能向上のためのMRI整備	事務職、医師、医療 技術職	MRI機器及び工事発 注	発注完了	MRI発注済み 改修工事着工	設計中	患者満足度

## III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

効率的な資材調達等の実施及び働き方改革の推進で、健全経営の実現に努めます

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
SPD業者との診材及び薬品の調達協議	薬剤師、事務職	SPD業績評価会	4回	3回	2回	医業収支比率
健康面での時間外勤務の削減	事務職	時間外勤務月80時間 を超えた延べ人数	3人	3人	6人	職員給与費対医業 収益比率
費用面での時間外勤務の削減	事務職	課の時間外勤務の合 計	5,500時間	6,096時間 (選挙、管理職分 除く5,421時間)	5,698時間	職員給与費対医業 収益比率
定数条例の改正	事務職	定数	815人	改正完了815人	692人	職員給与費対医業 収益比率

# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	医事課	総括責任者	課長	田丸 勝巳
—		副責任者	担当長	近藤 俊男 田邊 高達 芦野 義明

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療現場における事務の体制強化を図ります。
- ②医療の質の向上と効率化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
医療事務の外来・入院部門、救急医療部門の体制強化(医療の質の向上)のため委託業者の選定	事務職	実施有無	有	有	-	(なし)
クリニカルパス利用の促進	事務職	パス利用数	3,000件	3,009件	2,572件	(なし)
地域医療連携登録医へのアンケート	医師、事務職	開催回数	1回(5or6月)	1回	1回(4月経営企画課による)	紹介率・逆紹介率
連携医療機関への訪問(医師同伴件数を増やす)	事務職、医師、看護師、MSW、PSW	年間件数	80件(うち医師同伴20件)	120件	69件	紹介率・逆紹介率
ドクターズクラークの業務の平準化	事務職	ドクターズクラークの配置異動の実施	有	有	有	(なし)
連携先医療機関への情報発信の強化	事務職	情報発信回数	4回/年	7回	-	紹介率・逆紹介率

## II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者ニーズを捉え、満足度の高い医療の提供を図ります。
- ②当院の医療提供体制を分かりやすく発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者満足度調査の実施	事務職	実施回数	1回以上	有	1回	(なし)
利用者の声の実現	事務職	実現件数	2件	2件	1件	(なし)
病院広報誌「SMILE!」紙面上での医療機能分化啓発記事の掲載	事務職	紙面掲載回数	1回以上	0回	0回	情報発信件数
病院ホームページ医事課及び地域連携ページの更新	事務職	更新回数	4回以上	4回	5回	情報発信件数
「疾患・治療の説明書」の新規作成	医師、事務職	新規作成数	2種類	無	0種類	患者満足度
特別入院室使用料と分べん介助料の見直し	事務職	条例の改正の実施	有	無	-	患者満足度

# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	医事課	総括責任者	課長	田丸 勝巳
—		副責任者	担当長	近藤 俊男 田邊 高達 芦野 義明

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①施設基準の取得を推進します。
- ②コスト意識を持って経営に参画します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
新規施設基準の取得	事務職	件数	5件	2件	16件	入院診療単価
委託業者への収益診断及び精度調査実施の管理	事務職	回数	2回	1回	2回	医業収支比率
現年度未収金額の減少	事務職	未収金額	前年度比3%減	1%減	24%減	医業収支比率
クリニック、病院からの紹介予約件数	事務職	受入件数	外来225件/月 検査210件/月	外来 213件/月 検査 198件/月	外来199件/月 検査187件/月	外来診療単価



# 職員行動計画書

【令和3年度】

科名	災害医療企画室	総括責任者	室長	松原 隆
—	—	副責任者	副室長	高田 佳奈子

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

災害拠点病院として機能の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
災害対応医療訓練の実施	訓練参加職員	参加数	50人	39人	20人(R元29人)	(なし)
自動参集訓練の実施	訓練参加職員	参加数	50人	50人	0人(R元65人)	(なし)
病院消防訓練の実施	訓練参加職員	参加数	50人	74人	20人(R元53人)	(なし)

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域住民や患者に病院周辺の災害状況の情報を発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
ホームページ上に災害状況の情報提供	所属職員全員	情報提供の実施	実施	なし	なし	(なし)

## III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

災害時に医療が提供できるよう準備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
災害対応マニュアルの改訂	所属職員全員	改訂回数	1回	1回	なし	(なし)